

城岳同窓会



「同窓会活動のさらなる充実に向けて」

城岳同窓会会員の皆様、お元気でお過ごしのことと存じます。平素より同窓会の活動にご支援を賜り心より感謝申し上げます。

これまでの3年間新型コロナ禍で日常生活、経済活動、地域行事等で大きな影響を受けてきましたが、本年になってやっと落ち着きを取り戻し平常な状態に戻って安堵しております。

同窓会活動においてもその間事業の中止や縮小、延期を余儀なくされていましたが本年になって通常ベースに戻しております。3月には母校支援事業の一環である「海外・ショート・ステイプログラム」を1年生2名選考して3年ぶりに春休み中に派遣することができました。8月理事会においてショート・ステイプログラムに参加した生徒による体験報告会も実施いたしました。派遣された2名にとっては貴重な体験になったことと思います。本年度も2名を派遣する予定です。本年8月に発生したハワイ・マウイ島火災について「本事業ではハワイ城岳同窓会及びハワイ沖縄県人会の皆様には大変お世話になっていること、ハワイ州と沖縄県とは交流の歴史も深いこと」を踏まえ同窓会として支援金を募ることにしております。ユイマールの精神で皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

令和4年度城岳賞は各大会で素晴らしい実績を挙げた女子サッカー部に贈呈しました。

3月下旬にはA氏奨学金第15期生として県外大学進学者2名、県内大学進学者1名を選考して給付しました。

5月20日には同窓会定時社員総会と懇親会を沖縄ハーバービューホテルで開催しました。総会の議案は原案通り承認されて、新たに新代議員、新理事、監事も選任されました。続いて行われた懇親会には卒業60周年を迎えた第16期生の皆様も多数参加いただき総勢620名余の出席がありました。

一般社団法人 城岳同窓会会長
宮里 博史 (21期)



4年ぶりの開催ということもあり久しぶりに会う先輩、同級生、後輩の皆様との交流でにぎやかな懇親会となり、最後に全員で校歌を高らかに斉唱して盛況裏に終えることができました。今回の懇親会の企画、運営、パンフレット作製を担当した第45期の皆さんに心より感謝申し上げます。

6月23日慰霊の日には「二中健児の塔慰霊祭」を城岳公園で行いました。今回も兵庫県立兵庫高校同窓会「武陽会」から新居理事長他2名にも遠路ご参列頂きました。

6月23日慰霊の日には「二中健児の塔慰霊祭」を城岳公園で行いました。今回も兵庫県立兵庫高校同窓会「武陽会」から新居理事長他2名にも遠路ご参列頂きました。

本年も同窓生皆様の県内外各分野における活躍ぶりは目覚ましく、叙勲や県功労者等公的な表彰を受けられた方、企業や団体で要職に就かれた方、著作を発刊された方も多数おられます。7月には祝嶺恭子氏（那覇高9期生）が首里織物の染織家として国指定重要無形文化財保持者「人間国宝」に指定されました。こうした同窓生の活躍ぶりは同窓会及び那覇高校在校生にとりましても大変喜ばしくかつ誇りとするところであります。

母校の生徒たちも「和衷協同」「積極進取」の校訓のもと文武両道で頑張っております。

これら同窓会の活動や同窓生の活躍状況、那覇高校の近況は同窓会ホームページや会報紙、学校のホームページ等でも紹介しておりますので是非ご覧ください。

今後とも同窓会役員一同一丸となって、母校支援、同窓生相互の交流促進、同窓会活動の充実に向けて取り組んで参ります。

皆様の一層のご支援とご健勝・ご活躍を祈念申し上げます。

ごあいさつ

那覇高等学校 学校長 福地 修



城岳同窓会会員の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和5年4月に、沖縄県立那覇高等学校第29代校長として赴任しました福地修と申します。どうぞ、よろしくお願いします。

さて、本校は県立二中時代を含め、創立113年目を迎える県内屈指の伝統校です。これまで県内外はもとより国外においても政治、経済、社会及び文化等の各界で活躍する多くの人材を輩出してきました。そのような長い歴史の中で、城岳同窓会が果たしてきた役割は非常に大きいものがあると考えます。私たち教職員も、校訓「和衷協同・積極進取」の下、先達が築いてきた伝統を礎に文武両道を実践し、これからの時代に求められる幅広い知識・技能と豊かな人間性を備えた人材の育成に邁進していく覚悟です。

学校の現況ですが、まず4月7日に城岳同窓会宮里会長、與那覇副会長、與儀事務局長のご臨席を賜り、新入生400名を迎え第79回入学式を挙行了いたしました。5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行されたこともあり、学校行事も全校生徒が一堂に会して行われるなど、コロナ禍以前の状態に戻りつつあります。

県高校総体では、学校別順位において男女総合3位、男子6位、女子2位と大健闘しました。水泳個人優勝をはじめ、バスケットボール男子、剣道男子団体、サッカー女子、水泳女子総合、バドミントン女子シングルスで準優勝（2位）、その他競技も多数の上位入賞を果たし、九州・南九州大会や全国高校総体の出場権を得ています。

文化系では、放送部がNHK杯全国高校放送コ

ンテスト沖縄大会テレビドキュメント部門で最

優秀、研究発表部門で優秀賞に輝き、全国大会に出場しました。吹奏楽部も沖縄県吹奏楽コンクール高等学校の部で金賞受賞並びに九州吹奏楽コンクールへの推薦を勝ち取り、見事九州吹奏楽コンクールにおいても金賞受賞という輝かしい実績を残しています。

今年度は城岳祭や体育祭の学校行事は行われませんが、9月に「騒げ！走れ！楽しめ！今年もガチで青春しやがれ！」のテーマの下、生徒会行事「那 HIGH 祭」を行います。生徒会を中心に各学級・各国が心をつなげて、行事の成功に向けて一生懸命頑張っています。

また、今年度も4月より、3年生を対象とした城岳同窓会館自習室の利用も行っております。毎年、城岳同窓会館内会議室を自習室としてご提供いただき、心から感謝申し上げます。その他にも、那覇高校生のために、A氏奨学金給付、海外ショートステイ・プログラム派遣、城岳賞授与、城岳講座講師派遣、那覇・首里スポーツ交流対抗試合、入学式・卒業式記念品授与、部活動支援等、多くのご支援をいただいております。重ねて御礼申し上げます。

教育活動は、学校と保護者、同窓会、地域及び関係機関が一体となって行われるとき、充実した実践ができるものと考えております。城岳同窓会の皆さまには、引き続き本校教育の充実に向けてご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後の城岳同窓会のますますのご発展と会員の皆さまのご健康とご活躍を祈念申し上げ、あいさつとします。

城岳賞

令和4年度（2022年）の城岳賞贈呈式は卒業式予行練習（2月28日）の場で行われ、この1年間優秀な成績をおさめた女子サッカー部へ城岳賞と副賞を贈呈しました。



與那覇博明副会長が城岳賞を贈呈。



続いて副賞を贈呈。

卒業式・同窓会入会式

令和4年度（2022年）第76回卒業式が令和5年3月1日那覇高校体育館に於いて挙行されました。今年は新型コロナウイルスの収束を受け前年度とは違い、保護者・在校生・来賓等の入場制限は緩和されました。



堂々と第76期生392名が整列。



在校生からの送辞「未来へ羽ばたけ」。



宮里博史会長から城岳同窓会入会歓迎のことば。



仲里宰汰（サイガ）君と江川心愛（ココア）さんの決意表明。

海外ショートステイ・プログラム

令和4年度は新型コロナウイルス感染が収束し、3年振りにハワイから受け入れが認められました。今年にはKalaheo High SchoolとIolani Schoolの2校がHost Schoolとして受け入れて戴きました。当初は4家庭に滞在する予定でしたが、最終的にはMr William Good Speedさん宅へ3週間2人の生徒がお世話になりました。日本から出国する時はコロナウイルス接種証明が必要でしたが、帰国する時は免除される等国毎の対応の違いがありました。

派遣生徒（1年生）＝村上凛花さん、下地陽斗君

- ・ Host Family = Mr. William Good Speed 2023年2月25日～3月18日
- ・ Host School = Kalaheo High School 2023年2月27日～3月3日
- Iolani School 2023年3月7日～3月10日
- ・ Activities =（ハワイ文化施設を見学） 2023年3月11日～3月17日



Kalaheo SchoolのJames Reppard学校長とHost Studentes.



Resha Ramolette副校長先生と一緒に。



Iolani School Okinawa clubの皆さんと。



仲良しの仲間と一緒に。



ハワイ城岳同窓会の皆さん。



Host FamilyのStella and Billさん。



りゅうぎん国際化振興財団より第4期SAP事業に対して40万円の助成が決定し8月21日に川上理事長より助成金の贈呈。

A氏奨学金第15期生

城岳同窓会は「学業・人物ともに優秀で経済的理由で、学業継続が困難な者に対して奨学金を給与する事により、地域社会や同窓会へ貢献できる優秀な人材を育成する。」事を目的に奨学生を募集する。平成20年にA氏奨学金制度がスタートして本年度で15年目を迎え、その間43名が希望する大学へ進学し、海外へ留学する等多くの奨学生が優秀な学生・社会人として県内外で活躍しています。本年卒業した76期生から優秀な3名を第15期奨学生として決定した。

A氏奨学金 第15期生

赤嶺 ^{タイガ} 太河さん	京都府立大学 公共政策学部 公共政策学科
前島 ほのかさん	中京大学 スポーツ科学部 スポーツ教育学科
島守 菜月さん	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 美術学科絵画専攻

奨学金支給額

県内：月額 30,000円×12月（年額：360,000円） 県外：月額 50,000円×12月（年額：600,000円）



前列左から赤嶺太河、宮里博史会長、島守菜月、前島ほのか
後列は保護者。（3月25日）



與那覇博明副会長から第2期奨学金の支給。（8月16日）

令和5年度人事異動

令和5年度は学校長はじめ管理職の異動があり、同窓会へ挨拶に見えました。



右奥から、福地修(オサム)校長、前里哲寿(ノリヒサ)教頭、
上原令(リョウ)教頭、新垣裕康(ヒロヤス)事務長。（4月6日）



株式会社 森山写真館

代表取締役社長 森山 紹作 (37期)

Shosaku MORIYAMA

携帯：090-3796-3917

Mail: moriyama@e-okinawa.co.jp

〒900-0034 那覇市東町19-22

TEL 098-862-2042 FAX 098-862-2045

●カメラのモリヤマ

●カメラのモリヤマ 写真撮影室

●沖縄メディア・アート・センター

●株式会社 oMacエンターテインメント

www.e-okinawa.co.jp/mips

入学式

令和5年4月7日に入場制限が緩和され吹奏楽演奏で祝福の手拍子に合わせ堂々と入場した。



第79期生400人が整列。



福地 修校長先生が入学を許可。

キックオフ

令和5年度（2023年）の定時社員総会・懇親会に向けて、例年になく短期間のなか東恩納 誠実行委員長を中心に45期生が幹事期としてキックオフを行う。



(1月25日)

定時社員総会・懇親会 (5月25日)

令和5年度（2023年）の定時社員総会・懇親会は4年振りに沖縄ハーバービューホテルで開催し、卒業60周年の第16期生を全会員で祝う。



今年度は代議員選挙で7名が新たに選出。



一人づつ呼名し選任意志を確認。



各議案毎に採決を行う。



卒業60周年記念の第16期生。



二中・那覇高校歌を高らかに斉唱する。



第45期生が実行委員としてやり遂げた。

慰霊祭

「鉄の暴風」が吹き荒れ、島全体が焦土と化した沖縄戦では、那覇高校の前身である県立第二中学校においても187名の学徒と9名の引率教諭が尊い命を散らしていった。戦後78年目の慰霊の日に、先輩方のご冥福を祈り戦争の惨禍を再び繰り返さない事を誓い平和を祈念し、城岳公園で慰霊祭を挙行。(6月23日)



名幸俊海名誉住職と新居大典武陽会理事長による読経。



亀谷康太生徒会長による誓いのことば。



遺族によるご焼香。



生徒による焼香と献花。

沖縄ビジネスサービス株式会社

(警備・ビル管理・清掃)

代表取締役社長 古 謝 秀 雄 (25期)

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3丁目21番1号
國場ビル2階

TEL 098-868-9088(代表)

FAX 098-868-9964

E-mail h.koji@obs-net.co.jp

インフル・コロナ抗原キット

取扱いしています



ひなた薬局 うえばる

代表取締役会長 安次嶺 昌典 (25期)

〒901-0153 沖縄県那覇市宇栄原6-1-8

TEL:098-859-7273 FAX:098-859-7274

第3回「A氏会」(8月16日)

A氏奨学金制度は平成20年にスタートして今年で15年を迎え、現在43名の卒業生が希望する大学へ進学し、卒業後は社会人として第一線で活躍している。

今年は平成30年にスタートした海外ショートステイ・プログラム（SAP）でハワイへ留学した5名へも案内したが、県内外の殆どの受給者は業務やゼミ等で日程調整が出来ず、参加者は2人。

- ・大城千加さん（第6期生）：平成25年受給（株）地域科学研究所勤務（県内在）
- ・島守菜月さん（第15期生）：令和5年受給 県立芸大美術工芸学部美術学科絵画専攻



宮里博史会長からの挨拶。



大城千加さんは（左）「現在の仕事を沖縄の発展に繋げたい」と語る。



島守菜月さん（奥右）今年第15期生として県立芸大に合格。



参加者は2人でしたが有意義な意見交換が出来た。

有限会社 我部商店
各種穀物輸入・卸売

我部 嘉宏 (23期)

那覇市松尾2-10-20（浮島通り）
電話（098）-863-4433

EY税理士法人 沖縄事務所

税理士 幸地 啓子 (23期)

〒900-0006 那覇市おもろまち1丁目3番12号
ザ・テラスオフィス&パーキング7階
TEL 098-917-5461(代表) FAX 098-917-5499

祝嶺 恭子氏（第9期生）

祝嶺氏は「首里の織物」の製作方法を高度に体得した染織作家として、2023年度国指定重要無形文化財保持者「人間国宝」に認定されました。

長年にわたる伝統工芸継承の努力とその功績は誠に顕著なもので、本同窓会員及び那覇高校在校生にとりまして大いなる誇りです。

令和5年10月25日に第20回城岳講座「先輩から後輩へのメッセージ」の講師として母校の那覇高校で講演をされました。

略 歴

1937年	那覇市にて出生
1956年	琉球政府立那覇高等学校卒業
1962年	女子美術大学卒業
1962年～1971年	首里高等学校教諭
1990年	県立芸大 教授就任
1991年	県指定無形文化財「首里の織物」保持者認定
2003年	祝嶺染織研究所開設
2006年	県立芸大名誉教授就任
2015年	県功労者表彰
2021年	瑞宝小綬章
2023年	人間国宝認定



特徴的な織物を展示して生徒に細部にわたり説明する。



「この様な透けて見える織物には高度な技術が要求される。」と説明。



学級代表60名が大講堂で講演を聴きその様子が各クラスへ配信される。



生徒代表から感謝の花束贈呈。



講演終了後生徒達から「どうしたら人間国宝になれますか？」の質問に対して「基礎を学ぶ事が大切！」と力説。



祝嶺恭子氏は城岳同窓会の誇りです。



研究者と音楽との二足の草鞋

琉球大学農学部 教授

高良 健作 (42期)

約35年前、吹奏楽部に所属していた私の高校生活はホルンと共にあった。3年生の8月下旬に、部活動の集大成の思いで臨んだ九州吹奏楽コンクールを最後に大学受験の準備に本格的に取り組むつもりであった。が、何と九州地区代表校に選出されてしまった。嬉しさ8割に不安2割の気分で挑んだ全国大会の普門館のステージは、高校生活で最高の思い出となった。

さて、私の叔父が実家の隣地で農業を営んでいたこと、また有機化学を学びたいという理由で、琉球大学農学部農芸化学科を受験した。幸い、あの全国大会から半年後の1989年4月、琉球大学がある西原町千原のキャンパスで大学生活がスタートした。当時の農芸化学科は、その後亜熱帯生物資源科学科へと組織改編された。これが今の職場である。

亜熱帯生物資源科学科では、収穫した農産物をより美味しく加工し、健康の保持増進に寄与する成分を見出し、その一方で食品廃棄物や海洋生物など未活用の生物資源を医薬品などへ応用する研究を行っている。私は「食品機能化学」や「食品衛生学」の授業を担当しているが、前職が、沖縄県職員として宮古保健所で食品衛生監視員を務めていたこともあり、食品衛生学では飲食店や食品製造業に対する衛生行政のリアリティーを伝えている。また研究の材料は熱帯・亜熱帯農産物の黒糖やシークワサー、ウコンなど。最近ではヘチマの食品機能について研究し、降圧作用やリラックス効果をもたらすヘチマの成分に着目し、加工調理中に成分を増加させる方法を見出した。また、2年前か

ら泡盛の古酒化のメカニズムについて、泡盛メーカーと他大学の研究者と交え研究を開始した。泡盛は米のデンプンを黒麹菌により糖に分解し、この麴に酵母と水を加えたモロミの中で糖は次第にアルコールへと変換する。モロミを蒸留して得られる原酒は、貯蔵中に香気成分の変化が起こることが我々の研究で明らかになった。学生と共に、泡盛原酒の中でゆっくりと進行する化学反応が解明できれば、泡盛の酒質をより向上させることが可能となるであろう。

那覇高校のグラウンドの傍らで吹いていたホルンは、今でも現役である。演奏の機会はアマチュアオーケストラのメンバーとして、あるいは室内楽アンサンブルの中で得ている。この11月にはストラビンスキー作曲のバレエ組曲「火の鳥」を上演予定である。がしかし、普段のオーケストラの練習では指揮棒を振る時間の方が長くなってしまった。とある数年前、母校吹奏楽部の練習を見てもらいたいと声をかけて頂き、喜んで参加した。新しくなった音楽室に、ハープやコールアングレなど特殊楽器も加わり、その環境の変貌には大変驚かされたが、音楽に対し真正面から向き合う気迫は、昔と変わらなかった。当時、吹奏楽部顧問を務められ、我々に音楽の奥深さを教えて頂いた與儀幸英城岳同窓会事務局長に深謝申し上げます。



前 島 齒 科 医 院

院 長 金城 竹治 (18 期)
Kinjo Takeharu

〒901-0152 沖縄県那覇市小緑 516 番地 2
TEL : 098-857-3710 FAX : 098-857-8457



那覇高校傍らでの開業医生活

友寄クリニック 内科医

川上（旧姓 友寄）祐子（40期）

40期の川上（旧姓 友寄）祐子です。那覇高校通りにある「友寄脳神経外科」、それが私の実家です。那覇高校生なら見覚えがあるのではないのでしょうか。

私は平成20年から父とともに開業医生活を始めました。私は内科医ですので、クリニックの名称を「友寄クリニック」と改め、脳外科の父の傍らで内科を新設しました。以来、那覇高校のお膝元で地元のかかりつけ医として微力ながら励んでおります。

かかりつけ医って皆様どんなイメージをお持ちですか？地元の皆様が安心して暮らせるよう地域に寄り添う医師です。生活習慣病の相談・治療、急な病状やけがの対応、家族の病気の相談、介護の相談、健康診断、予防接種などなど幅広く身近に相談できる医療・介護の窓口として活動する医師です。

コロナ禍では発熱外来でコロナの診断、治療、相談、入院への橋渡しなどもしてきました。

そして専門医として、消化器系の診療をしています。

令和2年から父に代わり夫が新たに外科を併設、消化器外科、肛門外科の専門性をいかして単径ヘルニアや肛門疾患の手術治療を行っています。また、夫婦ともども消化器専門の強みをいかして専門性の高い消化器内視鏡診療を提供しています。

ここで診療していると、高校時代の同級生はもちろんですが、城岳同窓生としての先輩後輩方が訪れることも多

く、那覇高校の話や城岳同窓会の話になることもあります。高校時代の恩師が通院してくださるのも、少しは恩返しができるような気がして感慨深く感じます。

職員の中にはかつて那覇高校にあった看護科卒業の職員もいますので、彼女たちの同級生、部活の先輩後輩など、患者さんという以上に親しみを持って接することもしばしばです。

地元で長く開業していると、今日は家族をつれてきましたなどと3世代にわたっておつき合いあったりするものうれしいことです。

これからも地元で信頼されるかかりつけ医、そして専門医目指して、微力ではありますが、那覇高校の傍らで頑張っていますので宜しくお願い申し上げます。



一般社団法人
沖縄国際命の会

代表理事 金城 寿(41期)

〒903-0821 沖縄県那覇市首里儀保町1-35
携帯:090-1870-1636 FAX:098-887-7847

自家焙煎珈琲豆販売所

豆 福

平 良 聡(43期)

〒900-0027 那覇市山下町4-29(1F)
TEL:070-8420-2014

編集後記

今年度より広報委員会として会報作成に関わる事になった。今回改めて読み直してみても気付いた事は…母校への感謝であった。更に会報は時を繋ぎ、紡いでいく役目だと勝手ながら認識する事となった。今回ご多忙の中、ご寄稿下さいました高良健作様、川上祐子様、そして広告掲載に快くご協力頂きました会員の皆様に心から感謝申し上げます。今後とも各期を繋ぐ会報の充実、そして同窓会活動の発展にご協力を宜しく申し上げます。

広報委員長 新島 郁子

城岳同窓会の終身会費について

一般社団法人城岳同窓会は会員相互の親睦を図るとともに、那覇高等学校の発展に寄与すること及び地域社会に貢献する事を目的としております。また、本会の経費は会員の拠出金、寄附金、事業収益金及びその他の収入をもって充てております。

さて、会員の拠出金は、年会費1,000円または、終身会費5,000円によって賄われております。年会費を一括で5,000円を納入した場合は、終身会費と見なし、以後年会費は徴収致しません。伝統校の誇りと自信に満ちた校風の継承と発展の為、同窓生一人ひとりの積極的なかわりとご芳志をお願い致します。

振込先 琉球銀行桶川支店 店番号 314 口座番号 普通 338301

口座名義人 一般社団法人城岳同窓会 会長 宮里 博史 (ミヤザト ヒロシ)
ご芳名の前に卒業期をご記入下さい。

問い合わせ 一般社団法人城岳同窓会 事務局 與儀 幸英
〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1丁目21番53号 TEL (FAX) : 098-867-2525

城岳同窓会館のご案内

「母校に同窓会館を」との声が同窓生の間から叫ばれ、同窓生各位のご尽力により平成8年に実現しました。会館は同窓会員の親睦の場です。会員のみなさん、どうぞご利用下さい。

- ・ 2階は二中・那覇高の歴史を後世に語り継ぐ資料展示室及事務室
- ・ 3階は会員のクラス会、会議、趣味の集まりなどに利用でき、収容人員は50人です。なお、使用料金（光熱費）は1団体：1時間800円です。
- ・ 4階は自学自習室として、3年生が活用しています。

編集発行 一般社団法人 城岳同窓会

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-21-53 電話・FAX 098-867-2525

事務局 E-mail: yogi@jogaku.or.jp

城岳同窓会ホームページ <http://jogaku.or.jp>

医療法人 心会和

潮 平 病 院

理事長 潮 平 優 (25期)

〒904-0021 沖縄市胡屋 1-17-1
TEL: 098-937-2054 FAX: 098-937-1905



なかよし内科クリニック

院長 仲 吉 朝 史 (32期)

〒902-0068 沖縄県那覇市真嘉比2丁目29番28号
TEL (098) 887-3333 FAX (098) 884-1234